

北信教育事務所だより

～教師・学校・地域がつながるために～

第2号

令和2年5月19日

学校と家庭をつなぐ～動画を使った学習支援～



(<https://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/kyoiku/>)

家庭でも効果的に学びを進めていくことができるように、長野県教育委員会 HP にて、

「いっしょに学ぼう」家庭学習サポート動画を掲載しています。そこで、今回は、学校の学びをつなぐ活用例を紹介します。

♪動画の紹介と活用例♪

【算数__小2__ひきざん】編

【もんだい】
色紙が21まいあります。
8まいつかうと何まいのこりますか。

しき $21 - 8$

1から8をひくことができないので
何十からひいて考えてみましょう。

どのように計算すればいいのかな？

問題を提示し、既習内容をもとに、子どもたちが取り組む課題を設定しています。家にあるものを使って考える場を設定することも可能です。

21 - 8 の計算のしかた

21を20と1にわけます。

20から8をひいて12です。

12と1で13です。

【国語__中1__物語を読む】編

1/12

漢文 古文 記録 随筆 説明 物語 詩

花曇りの向こう

物語を読む(中学校一年)

瀬尾まいこ

国語の学習って、これでいいのかな？
1人でやっても、どこか不安だな。

物語を読み、自分なりの学習問題を立て、小学校までの学びとつながる追究のポイントを示しています。

ノートの使い方は学校ことの指示があると思います。教室でみんなで確かめましょう。右の写真は、大学ノート(A罫)を縦にして使っています。

花曇りの向こう

瀬尾まいこ

物語の場面やキーワードなど、ノートづくりのポイントを示し、まとめていきます。

♪学校の先生方の活用の声♪

動画を活かして課題を設定し、学習カードをつくって、家庭でも学習に取り組むことができるようにしています。

今後も、「つなぐ」支援を進めて参ります。
北信教育事務所 HP に、動画に連動したワークシートも掲載していますので、ご活用ください。
(<https://www.pref.nagano.lg.jp/hokushinkyo/>)



子ども同士の考えが**つながる**授業づくり ＝ソーシャルディスタンスを配慮しての工夫例＝

学校が再開された際に、「ソーシャルディスタンス」に配慮しながら、
どのように子どもたち同士の考えを交わらせる授業をしていけばいいのか？
そんな悩みの声が聞かれます。

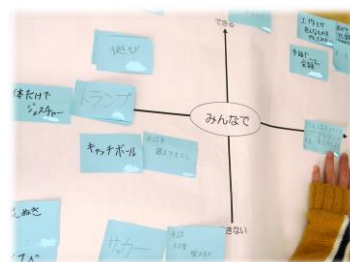


次に紹介する活動を参考に、子どもたちが友と考え合い交流する場面を位置付けてみましょう。

【主に個人追究～全体追究の場面における工夫】

様々なアイデアを分類する

- ソーシャルディスタンスに配慮しながら、友達の考えを読み合います。
- 学級内で出された考えについて、「どのような視点で分類することができるか」全体で話し合い、分類の視点を決め出します。
- 決め出された視点で分類できるように黒板にグリッドを作り、名前マグネットや考えを書いた付箋を貼っていきます。



⇒友達の考えを読み、自分の考えとの相違点・共通点を考えることにつながります。

考えを付箋で貼っていく活動

- 例えば、国語で物語教材を扱うような場面において、叙述を拡大印刷して、黒板に掲示します。
- 学習問題に対する自分の考えを付箋に書き、その根拠となる叙述の付近に付箋を貼っていきます。
- 付箋を貼るときには、ソーシャルディスタンスに配慮して行います。
- ポイントとなる叙述を取り上げ、そこに貼られた付箋を全員で読む活動を位置付けます。

⇒付箋の多い叙述に着目することにより、その作品を読み解くことにつながります。

⇒自分の考えとの相違点・共通点があることに気づくことが期待できます。

⇒付箋を貼った理由を全体で共有することもできます。

ホワイトボードを活用した情報交換

- 自分の考え（例えば、自分の計算の仕方）をホワイトボードに書いて、情報交換をします。
- 方法が似ているボードを集めて黒板に貼り出し、説明は方法ごとに代表の児童生徒1名が黒板前で行います。

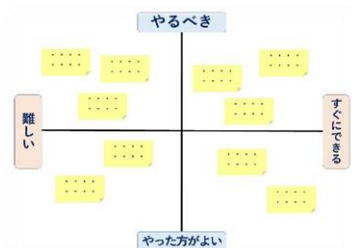
⇒簡易ホワイトボードは、白画用紙をはさんでラミネートをし、裏にマグネットシールをはるとよいです。ホワイトボード用のペンとキッチンパーパーを、一人ずつ配付すると、一人ずつボードを活用することができます。



分析シートと付箋を使った意見交流

- ・個人追究において、追究したい2つの視点を分析シートの縦軸と横軸に据え、それについて自分の考えを書いた付箋を、縦軸横軸の位置を考えながら分析シートに貼ります。
- ・グループ追究では、グループで1枚の分析シートを用意し、それぞれが自分の考えを書いた付箋を貼ります。
- ・友達の付箋を読み、自分の意見と比較します。

⇒一連の活動の後に自分の付箋を貼り直し、それを見返すことで、自分の考えの変容を自覚することができます。



【主に全体追究の場面における工夫】

名前マグネットを用いて情報共有をする

- ・板書に幾つかの考え方を提示し、自分と同じ考え方に自分の名前マグネットを貼っていきます。
- ・名前マグネットを貼る際には、ソーシャルディスタンスに配慮します。

⇒友達の考え方を読む活動も期待できます。自分の名前マグネットを貼っていない考え方についても、目を向けさせることも可能です。



互いの考えについて感想を伝え合う活動

- ・国語で書いた作文、社会で作った新聞、図工で制作した作品、生活科や総合的な学習の時間で書いた振り返りなどを教室内外に掲示した後の活動です。
 - ・互いに見合う時間を取り、感じたことや考えたことなどを黄色い付箋に書いて貼っていきます。
 - ・付箋を読む時間を取り、その付箋に対する返事を赤い付箋に書いて黄色の付箋につなげて貼っていきます。
- ⇒友達の考えを読み、自分の考えをアウトプットすることにより、比較して読むことや他人の考えを受けて書くことにつながります。

家庭学習の一例

次のような探究的な学習を取り入れることもできます。

今だから、ネットニュース&新聞学習！（小学校高学年～中学生向け）

新型コロナウイルス感染拡大をめぐって、毎日さまざまなニュースが飛び交っています。肯定的に受け止められる内容の記事もあれば、うのみにせず批判的な目をもって読まなければならない記事もありそうです。

例：どうしてカタカナ語が頻繁に使われるのだろうか？ その効果は？

例：意見を述べよう！ これはわかる！ これは疑問？

例：社説に対しての自分の考えを書いてみよう！

例：これって、ひょっとしてフェイクニュース？

今だからこそ、複数の情報を読み比べ、その受け止め方について、自分の考えをミニレポートにまとめてみる学習はどうでしょうか。ミニレポートは掲示して、コメントを集めて交流することもできそうです。

初任研スタート研 代替研修

「初任研スタート研修」(4/14) 代替研修では、DVD 視聴による個別の研修に加えて、北信教育事務所の指導主事が学校訪問をして、初任者と研修及び懇談をしました。同じ地区の初任者同士が顔を合わせて、新鮮な思いを交換し合うことが望まれるところですが、今回はその思いを文章にして、お互いへのエールを送る形で一言書いてもらいました。どの初任の先生方からも、今の状況を前向きに受け止めつつ、みんなで力を合わせて乗り越えようという熱いメッセージをいただきました。

教師になった希望を自分の言葉で語る初任の先生方

落ちこんでいたとき、優しく声をかけ、一緒に考えてくれた先生に憧れて教師になりました。子どもの笑顔や声を想像しながら授業づくりに励んでいます。感染症に負けず、元気いっぱい頑張ります。

子どもたちと楽しく遊び、楽しく学ぶことを楽しみに教師になりましたが、今はそれが叶わずとても残念です。子どもたちが来た時に少しでも笑顔が増えるように、今はしっかりと準備していきたいと思います。がんばりましょう。

良いところも、課題となるところも受け止めて、全力で向き合ってくださった先生に憧れて教師になりました。一人ひとりと向き合っ、それぞれの良さを生かしていけるようなクラスにするべく、考える毎日です。わからないことは多いですが、日々精一杯頑張ります。

「わかった!」「できた!」という喜びを生徒と共有したいという思いから教師になりました。先が見えず不安もありますが、このピンチを「チャンス」に変えられるよう、前向きに頑張っていきたいです。

学校に毎日通いながら、他の初任の方々はどのように過ごされているのかなど考えることがあります。なかなか集まることができず、心細く思う時もありますが、みなさんにお会いできるのを楽しみにしながら、しばらく頑張ろうと思います。

子どもたちに会えない寂しさを、家庭での様子やこれからの日々に思いをめぐらすパワーに変えて、日々を過ごしています。周りの先生方からいろいろなことを教えていただく機会にもなっているので、前向きにがんばります。

子どもたちに体を動かす楽しさを伝えたいと思い、教師になりました。今は子どもたちに会うことができず、寂しい気持ちですが、学校が再開して、学校で一番に子どもたちと遊び、子どもたちと笑顔で会える日を楽しみにしています。

子どもたちと今、一緒にいられないことが残念ですが、その分、休業明けに全て出し切って、子どもたちと楽しみたいと思っています。子どもたちと会えるのを楽しみに、乗り切りましょう。

子どもたちに会えなくなり、さみしい日々を送っていますが、その分、先輩の先生方から様々なことを教えていただきながら、教材研究等がんばっています。エネルギーをためて、休校明けからがんばりましょう!

授業の中で子どもの疑問から導かれる課題に寄り添える教師に憧れ、目指しています。自分自身が楽しくないときは、子どもたちも楽しくないはず!この目線を忘れず、一步一步前進していきたいです。

子どもたちに会えない時期は寂しいですが、また会える日がとても楽しみです。これからたくさん子どもたちとの日々を大切に、すてきなクラスづくり、学校づくりができるように頑張りたいです。

「私たちの学校で、これから活躍する初任者ですから!」

学校訪問の際には、初任者研修に関わる先生方ともお話しする機会がありました。お話の中に「わが校で育てていく初任の先生」という温かな思いを込めた上のような言葉をお聞きました。

本年度から校内 OJT を活かしたメンター方式を取り入れている学校もあります。今後この事務所だよりでも、そうした学校の中での初任者の姿、初任者を支えてくださる先生方の姿を紹介していきます。

1週間、子どものエネルギー量に圧倒されて過しました。今となっては、張り合いのない日々を送っています。「次、子どもが来たら何をしようかな...。」と考えながら休校が明けのを待ちます。

私の学校に中国の学校から大量のマスクが届きました。去年、中国が大変な時に応援メッセージを送り、そのお礼だそうです。こんな時だからこそ助け合い！暗い話題ばかりでしたが、とても明るい気持ちになりました。休業が明けたとき、子どもたちが安心して過ごせるよう、今の自分にできることを精一杯やっていきます！

成績が伸びず、苦しんでいた私に、「絶対に大丈夫」と力強く声をかけてくださった恩師に憧れて教師になりました。生徒たちが学校に来たら、授業や部活動でたくさん思い出をつくっていきたいです。

わからないことだらけで漠然とした不安がよぎることもあります。切り替えを大切にして毎日をご過ごしていきたいと思います。「言葉を大切に扱う」という個人的な核を忘れることなく、学び続けていきたいと思います。

「子どもの姿」から学び、子どものために全力で取り組む教師になりたいと思います。今、その「子どもの姿」が見られず、とてももどかしい気持ちです。初任者の皆さんと共に学び合い、高め合いながら、子どもたちのために日々を頑張っていこうと思います。

今は、子どもたちが学校に来たらどんなことが必要か、どんなことをいっしょにやりたいか想像をして準備をしています。子どもたちが来たら、一緒に遊んだり、話をしたりするのが楽しみです。その日に向けて頑張ります！

私は、教科指導を通して子どもたちの可能性を引き出せるところに魅力を感じ、教師になりました。今は、生徒たちとなかなか接することができずに大変な時期ですが、学校が再開したら生徒に寄り添った指導ができるような教師を目指していきたいです。

子どもとなかなか会えない中、次に子どもたちに会ったら、こんな話をしよう、こんな活動をしようと思いついています。みんなに会いたいと思っているのは、きっと子どもたちも一緒だと思います。今出来ることを確実にし、準備万端で登校日を迎えられるようにがんばりましょう。

イレギュラーな状況で子どもに会ったり授業をしたりということができず、不安なことばかりですが、この状況を逆に利用し、教材研究をしたり子どもたちが来たときのことを考え、前向きに楽しく頑張っていきます。



当面の初任者研修について

授業力向上研修Ⅰ（５月中旬～）

- ・動画資料による研修「授業作りの基礎基本」「授業の参観と授業研究会」を視聴します。
- ・研修プリント「ホップシート」の記入。（「私が目指す授業づくり」について考えをまとめます）



教師力向上研修Ⅰ（６月２日）

- ・「授業力向上研修Ⅰ」で記入した「ホップシート」をもとに「自己課題」を決め出していくため、少人数によるグループ討議をします。
- ・会場を分散し、少人数による研修を行います。詳細は５月１５日付開催要項にてお確かめください。

初任研指導教員・研修コーディネーター等研修会（７月３日）

- ・感染症拡大防止対策を講じ、少人数の形式で実施する見通しです。

生涯学習課の「出前講座」を

利用してみませんか



生涯学習課では「社会教育」「スポーツ振興」「社会人権教育」の三分野についての出前講座を行っています。

この度、講座一覧表【学校向け講座】【地域向け講座】を作成しました。

別紙や北信教育事務所のHPをご覧ください、まずはお気軽にお問い合わせください。

もちろん、謝礼・交通費などの費用は一切かかりません。

たとえばこんな
講座があります

【社会教育】

熟議を体験してみよう！
【講義・実習】

コミュニティスクールを進める上で大切なのは「熟議」です。「熟議」とはどんな活動なのか、そのポイントや進め方の手順を学びます。また、熟議を体験することを通して地域と学校が連携する良さについて考えます。

【スポーツ振興】

いろいろなパラスポーツを
体験してみよう！
【実技】

東京パラリンピックの開催を来年にひかえ、パラスポーツを体験してみよう！実際に体験してみると、なかなか難しい！でも、楽しい！シットイングバレー・ブラインドサッカー・ゴールボールなどができます。



【社会人権教育】

いちから学ぶ性的マイノリティー
(LGBT) ～みんなが幸せに生きる
社会を目指して～
【講義・ワークショップ】

LGBTという言葉を知っていますか？多様な性のあり方、とらえ方を知ることを通して、「ちがい」を認め合い、多様な人々が受け入れられる社会について考えます。

講座開催時における新型コロナウイルス感染症感染防止の配慮についてもお相談ください。

【問い合わせ先】

北信教育事務所 生涯学習課

課長：中澤美三

《担当者》社会教育：岡田絵美

スポーツ振興：窪田聡史

社会人権教育：徳永吉彦

TEL 026-234-9552 FAX 026-234-9557

Mail hokushinkyo@pref.nagano.lg.jp

令和2年度 北信教育事務所生涯学習課 「学校向け出前講座」一覧

【社会教育】

分野	No.	テーマ	内 容	対 象			
				教員	PTA	子ども	親子
地域との連携	社1	社会に開かれた教育課程と コミュニティスクール 【講義】	新学習指導要領で重視されている「社会に開かれた教育課程」とコミュニティスクールとの関係性について学び、地域、学校、クラスや家庭でできることを考えます。	○	○		
	社2	子どもの豊かな学びのための コミュニティスクールの活用 【講義・ワークショップ】	コミュニティスクールの取組が広がってきています。改めて、何のためにコミュニティスクールが必要なのかを学びます。また、活動事例を知り、子ども達のより良い育ちのために、自校でどんな取組ができるのかを考えます。	○	○		
熟議の体験	社3	熟議を体験してみよう！1 【講義・実習】	コミュニティスクールを進める上で大切なのは「熟議」です。「熟議」とはどんな活動なのか、そのポイントや進め方の手順を学びます。また、熟議を体験することを通して、地域と学校が連携する良さについて考えます。	○	○		
	社4	熟議を体験してみよう！2 みんなの地域の 素敵な未来を考えよう 【実習】	自分達の地域の未来はどうなったら素敵な？大人と子どもが同じテーブルについて「熟議」を体験します。地域の未来のために今できることを見つけていきましょう。親子が協力して行う活動です。	○	○		○

【スポーツ振興】



分野	No.	テーマ	内 容	対 象			
				教員	PTA	子ども	親子
子どもの体力・運動能力向上	ス1	育てよう！ 運動好きな子ども達に！ 【講義・実技】	現在の子どもの体力・運動能力について知り、発達段階に応じた運動遊びの指導法について学ぶ講座です。身近な物を使って楽しく遊び、運動好きな子どもに育てましょう！	○	○	○	
	ス2	動ける体をつくる 幼児期の運動指導 【講義・実技】	「長野県版運動プログラム～幼児期からの運動遊び～」の理論と実践について、実技を通して学ぶ講座です。幼稚園・保育園・小学校の先生・地域のスポーツ指導者にお勧めです！	○	○	○	

【スポーツ振興】

分野	No	テーマ	内 容	対 象			
				教員	PTA	子ども	親子
人間関係づくりプログラム	ス3	体を動かし、心を動かす、 人間関係づくりプログラム 【講義・実技】	体を動かしながら、仲間と課題解決をしていく中で、より良い人間関係を築いていく第一歩のプログラムです。アイスブレイクの要素を多く含んでいるので、学校入学時、クラス替え当初にも使える内容になっています。	○		○	
	ス4	ポッチャを通しての 人間関係づくりプログラム 【講義・実技】	パラスポーツとして行われているポッチャを体験することを通して、言葉での伝え方の難しさや大切さを学びます。実際にポッチャを楽しみながら、学ぶ講座です。	○		○	
運動で笑顔づくり	ス5	身近なものを使って、 健康！笑顔作り！ 【講義・実技】	「運動が体や心にもたらす効果」や「運動による健康促進」について理解し、タオルや新聞紙を使って行う体操や簡単な運動を実際に行う講座です。脳トレもたくさん紹介します。短時間でできるので、学活等でも使えます。	○	○		○
パラスポーツの理解・普及について	ス6	ポッチャで パラスポーツ理解と普及 【講義・実技】	身体の動きを制限し、ポッチャを行う中で、障がい者の理解やパラスポーツの普及を考える講座です。誰でも楽しめる内容になっています。また、人権教育でも使える講座です。	○		○	
	ス7	いろいろなパラスポーツ 体験してみよう！ 【実技】	東京パラリンピックの開催を来年にひかえ、パラスポーツを体験してみよう！実際に体験してみると、なかなか難しい！でも、楽しい！ シッティングバレー・ブラインドサッカー・ゴールボールなどができます。	○		○	○
ニュースポーツ	ス8	誰もが気軽に楽しめる ニュースポーツ 【実技】	多種多様なニュースポーツを気軽に楽しめる講座です。子どもから高齢者まで、誰でも楽しめます。地域のイベントやスポーツ活動に活かせます。 囲碁ボール・ウォーキングサッカー・ラダーゲッターなどができます。	○	○	○	○
部活動支援	ス9	みんなで考えよう！ これからの部活動の在り方について 【講義】	学校部活動の現状を知り、今後の学校部活動の在り方について考えます。数多くある地域のスポーツ団体と、どのように連携をとっていけば良いのか、全国の実践事例を紹介します。	○	○		
	ス10	スポーツを教える？ スポーツで教える？ スポーツ指導で大切にしたいこと 【講義・ワークショップ】	子ども達に運動・スポーツを指導するにあたって、どんなことを大切にしていかなければいけないのかをワークショップを行いながら、考える講座です。子育てにも、活かせるヒントが多くあります。	○	○		

【社会人権教育】

分野	No.	テーマ	内 容	対 象			
				教員	PTA	子ども	親子
人権一般	人1	すべての人が生き生きと暮らせる 共生社会をめざして ～今知っておきたい人権課題～ 【講義・ワークショップ】	人権課題全般に関する基礎講座です。ワークショップを通して、自分の中にある先入観や固定観念について考えます。また、今知っておきたい人権課題について平成28年に施行された差別に関する法律から学び、人権を尊重することの大切さについて考えます。	○	○	○	○
	人2	心と体を使って 学ぼう人権 【ワークショップ】	自分で「感じ・考え・行動する」ワークショップを通して、人権感覚の基本となるコミュニケーションづくりの第一歩を体験的に学ぶ講座です。楽しみながら学べます。	○	○	○	○
個別の人権課題	人3	いちから学ぶ性的マイノリティー (LGBT) ～みんなが幸せに生きる社会を目指して～ 【講義・ワークショップ】	LGBT という言葉を知っていますか？多様な性のあり方、とらえ方を知ることを通して、「ちがいを認め合い、多様な人々が受け入れられる社会について考えます。	○	○		
	人4	これだけは知っておきたい 部落差別の今 【講義】	同和問題に関する歴史的資料の調査・研究から「部落史の見直し」が進んできました。明らかになってきたことをもとに、なぜ差別が生まれたのかを学びます。また、平成28年に施行された部落差別解消推進法のポイントや成立の背景について学び、差別や偏見のない社会の実現について考えます。	○	○		
	人5	外国にルーツのある方への 人権的な配慮 ～多文化共生社会の観点から～ 【講義・ワークショップ】	外国にルーツのある方々と接する機会が増える中で、様々な人権問題が起こっています。文化の多様性や生活習慣の違いなどを理解し認め合う多文化共生社会の実現について考えます。また、日本にいられた外国人の方々がどんなことに困っているのかを「やさしい日本語」をキーワードにして学びます。	○	○	○	○

※《ス3、ス4、ス6》の講座も、人権教育の講座として活用できます。

※長野県が示している11の人権課題（高齢者、障がい者、インターネットによる人権侵害等）についても、講座を開くことが可能です。

お示した内容以外の講座についてのご要望がある場合は、お気軽にご相談ください。

ニーズに応じて対応します！ぜひ、ご相談を！